



## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 東洋製作所  
 コード番号 6443 URL <http://www.h.toyo-ew.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 企画経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 黒川 英樹  
 (氏名) 萩谷 英治

TEL 046-272-3015

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	3,710	2.8	△91	—	△86	—	△171	—
25年3月期第1四半期	3,609	6.9	△203	—	△200	—	△18	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 △183百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △28百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△8.13	—
25年3月期第1四半期	△0.88	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	23,496	11,143	47.4	528.66
25年3月期	24,758	11,431	46.1	542.47

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 11,132百万円 25年3月期 11,420百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	5.00	5.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,600	△1.2	△160	—	△160	—	△250	—	△11.88
通期	21,000	4.4	650	44.3	650	41.7	280	△94.6	13.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	22,296,204 株	25年3月期	22,296,204 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	1,238,171 株	25年3月期	1,244,427 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	21,056,341 株	25年3月期1Q	20,959,232 株

自己株式数には、従業員持株ESOP信託口の所有する当社株式が含まれております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7
(5) セグメント情報等 .....	7
(6) 重要な後発事象 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融緩和による円安の定着や株価の上昇を背景に、輸出や設備投資に回復の兆しがみられるなど緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社の関連する食品加工業界、自動車業界、建設業界、冷凍・空調設備業界においては、自動車業界では円安効果により収益の改善が見られるものの、その他の内需関連業界はまだ設備投資抑制が続いております。

このような事業環境において当社グループは、「環境保全」・「省エネ」をキーワードに受注・売上・利益の確保を目標として新製品開発、コストダウンの一層の推進、業務の標準化・効率化に鋭意取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は3,710百万円（前年同四半期比2.8%増）となりました。損益につきましては、営業損失91百万円（前年同四半期は203百万円の損失）、経常損失86百万円（前年同四半期は200百万円の損失）、四半期純損失171百万円（前年同四半期は18百万円の損失）となりました。

なお、当社グループの事業は、受注物件の引渡・売上が年度末に集中する傾向があり、例年第1四半期連結累計期間につきましては売上高は低い水準にとどまります。一方、販売費及び一般管理費は各四半期に均等に発生するため、第1四半期連結累計期間は利益率が低下する傾向にあります。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

#### [エンジニアリング事業]

利益重視の受注活動の成果により利益率は改善してきましたが、自動車産業向け環境試験装置や食品加工業向け冷却設備等の工事完了は、年度末に集中する傾向が強くなり第1四半期の工事進捗が低いため、売上高は2,049百万円（前年同四半期比20.7%増）となりました。営業損失は80百万円（前年同四半期は248百万円の損失）となりました。

#### [空調事業]

地球温暖化対策や省エネ製品に対する要望に応えるため、大幅な省エネ効果を発揮する直膨エアハンを主とした提案営業を展開するとともに、当社独自のヒートポンプで再熱する省エネ性の高いデシカント空調システムなど当社の優位性を活かした製品の開発・拡販に注力しました。第1四半期は前期からの受注残が少なかった影響により売上・利益とも前年を下回っていますが、年度後半は好採算の受注残や社内他部門向け製品の生産により売上・利益とも改善する見込です。第1四半期の売上高は1,672百万円（前年同四半期比13.8%減）、営業損失は12百万円（前年同四半期は41百万円の利益）となりました。

#### [その他]

人材派遣および損害保険代理店業については、売上高は91百万円（前年同四半期比3.1%減）、営業利益2百万円（前年同四半期比40.6%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,262百万円減少し、23,496百万円となりました。これは主に前期末に計上した売上債権の回収が進み受取手形及び売掛金が減少したことによるものであります。

負債合計は12,352百万円となり前連結会計年度末に比べ974百万円減少しました。これは主に支払手形及び買掛金が減少したことによるものであります。

純資産合計は、11,143百万円となり、前連結会計年度末に比べ287百万円減少しました。これは主に四半期純損失の計上及び配当金の支払によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、現段階では平成25年5月10日に発表致しました業績予想に変更ございません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,448	10,487
受取手形及び売掛金	10,014	7,993
商品及び製品	234	305
仕掛品	198	214
未成工事支出金	416	762
原材料及び貯蔵品	460	469
繰延税金資産	181	213
その他	89	361
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	22,040	20,806
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	710	695
機械装置及び運搬具(純額)	133	127
土地	816	816
その他(純額)	261	258
有形固定資産合計	1,921	1,897
無形固定資産	56	51
投資その他の資産		
投資有価証券	657	631
繰延税金資産	0	0
その他	123	178
貸倒引当金	△40	△67
投資その他の資産合計	740	742
固定資産合計	2,717	2,690
資産合計	24,758	23,496

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,036	5,405
短期借入金	400	400
1年内返済予定の長期借入金	48	48
未払法人税等	653	14
前受金	84	309
工事損失引当金	61	52
その他	728	738
流動負債合計	8,012	6,968
固定負債		
長期借入金	595	586
繰延税金負債	2,257	2,269
退職給付引当金	2,410	2,479
資産除去債務	46	46
その他	6	3
固定負債合計	5,314	5,383
負債合計	13,327	12,352
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,334	2,334
資本剰余金	1,471	1,472
利益剰余金	7,593	7,317
自己株式	△182	△181
株主資本合計	11,216	10,941
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	222	204
為替換算調整勘定	△19	△13
その他の包括利益累計額合計	203	190
少数株主持分	11	11
純資産合計	11,431	11,143
負債純資産合計	24,758	23,496

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	3,609	3,710
売上原価	3,020	3,088
売上総利益	589	621
販売費及び一般管理費	792	713
営業損失(△)	△203	△91
営業外収益		
受取配当金	6	6
不動産賃貸料	3	0
その他	1	1
営業外収益合計	12	8
営業外費用		
支払利息	4	2
ゴルフ会員権評価損	—	1
為替差損	2	—
その他	3	0
営業外費用合計	9	4
経常損失(△)	△200	△86
特別利益		
固定資産売却益	1	—
特別利益合計	1	—
特別損失		
事業構造改革費用	43	34
公開買付関連費用	—	53
特別損失合計	43	88
税金等調整前四半期純損失(△)	△242	△175
法人税、住民税及び事業税	7	7
法人税等調整額	△229	△9
法人税等合計	△221	△2
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△20	△173
少数株主損失(△)	△2	△2
四半期純損失(△)	△18	△171

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△20	△173
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16	△17
為替換算調整勘定	8	7
その他の包括利益合計	△7	△9
四半期包括利益	△28	△183
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△29	△183
少数株主に係る四半期包括利益	0	0



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	エンジニア リング事業	空調事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,698	1,904	3,602	6	3,609	—	3,609
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	36	36	87	124	△124	—
計	1,698	1,940	3,638	94	3,733	△124	3,609
セグメント利益又は 損失(△)	△248	41	△206	3	△203	—	△203

(注)1 「その他」は、人材派遣、損害保険代理店業に関する事業を行っております。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	エンジニア リング事業	空調事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,049	1,653	3,702	7	3,710	—	3,710
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	19	19	84	103	△103	—
計	2,049	1,672	3,722	91	3,813	△103	3,710
セグメント利益又は 損失(△)	△80	△12	△93	2	△91	—	△91

(注)1 「その他」は、人材派遣、損害保険代理店業に関する事業を行っております。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(6) 重要な後発事象

(三菱重工業株式会社による当社普通株式に対する公開買付けの結果について)

三菱重工業株式会社（以下「公開買付者」といいます。）が平成25年5月31日から平成25年7月11日まで、当社の普通株式に対する公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）を実施し、下記のとおりとなりました。

1. 公開買付けの成否

本公開買付けにおいては、応募株券等の総数（12,339,702株）が買付予定数の下限（6,929,000株）以上となりましたので、公開買付開始公告及び公開買付届出書に記載のとおり、応募株券等の全部の買付け等が行われました。

2. 主要株主の異動

本公開買付けの成立により、当社のその他の関係会社に該当している公開買付者は、平成25年7月19日（本公開買付けの決済の開始日）付で当社に対する議決権の所有割合が50%超となり、当社の親会社に該当することとなりました。

また、当社の主要株主であった株式会社ニチレイ及びプロスペクト・アセット・マネージメント・インクは、その所有する全ての当社株式について本公開買付けに応募した結果、当社の主要株主に該当しないこととなりました。